

10/19/32

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv

04796661 **Image available**

APPLICATION FORM FOR MONETARY TRANSFER FOR FAX-OCR

PUB. NO.: 07-089261 [JP 7089261 A]
PUBLISHED: April 04, 1995 (19950404)
INVENTOR(s): II RYUSUKE
IWASA HIROSHI
APPLICANT(s): DAINIPPON PRINTING CO LTD [000289] (A Japanese Company or
Corporation), JP (Japan)
APPL. NO.: 05-260360 [JP 93260360]
FILED: September 27, 1993 (19930927)
INTL CLASS: [6] B42D-011/00; G06K-009/00; G06K-019/00
JAPIO CLASS: 30.1 (MISCELLANEOUS GOODS -- Office Supplies); 44.7
(COMMUNICATION -- Facsimile); 45.3 (INFORMATION
PROCESSING --
Input Output Units)
JAPIO KEYWORD:R107 (INFORMATION PROCESSING -- OCR & OMR Optical
Readers)

ABSTRACT

PURPOSE: To save labor in making an entry by reducing the number of
hand-
written descriptive items, and at the same time, enhancing
an
identification rate during facsimile transmission and shorten time
required
for corrective work to decrease personnel expense, and further ensure
that
these procedures will be instrumental in the management of data without
the
missing of a serial number.

CONSTITUTION: Established items such as the address, name and
account
number of an applicant are printed in an applicant column E by OCR
font. In
addition, a serial FAX number and further, an handling office number
are
printed in a transfer number column (c) and a handling office number
column
(b) by OCR font before facsimile transmission. Consequently,
an
identification rate becomes high during facsimile transmission, as
the
number of items in which the applicant describes directly is few. Thus
the
identification rate of a serial FAX number is almost completely
high, so
that labor required for the management of data without a missing
serial
number is mitigated. Consequently, the labor for describing a
handling

EF
2082

This Page Blank (uspto)

This Page Blank (uspto)

office number is saved, storing and managing an application for
monetary
transfer at every branch are not required, since the transfer form is
not
printed previously.

This Page Blank (uspto)

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 2 D 11/00	R			
G 0 6 K 9/00	K	8623-5L		
19/00				
			G 0 6 K 19/ 00	X

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平5-260360

(22) 出願日 平成5年(1993)9月27日

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 井伊 龍介

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 岩佐 博志

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(74) 代理人 弁理士 土井 育郎

(54) 【発明の名称】 FAX-OCR用振込依頼書

(57) 【要約】

【目的】 手書き記載項目の削減により記入時の手間を減らすとともに、ファクシミリ送信時における認識率を高くし、修正作業に要する時間の短縮を図り人件費を削減する。また、通番抜けのないデータ管理にも役立つようにする。

【構成】 依頼人の住所、氏名、口座番号等の確定事項をOCRフォントにて依頼人欄Eに印字しておく。また、ファクシミリ送信前にFAX通番、さらには取扱店番をOCRフォントにて発信番号欄c、取扱店番欄bに印字する。依頼人が直接記入する事項が少ないので、ファクシミリ送信時における認識率が高くなる。FAX通番の認識率が略完全になるので、通番抜けのないデータ管理に要する労力が軽減される。取扱店番を記載する手間或いは事前印刷した場合の振込依頼書を支店ごとに在庫管理する必要がなくなる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 金融機関にて使用されるFAX-OCR用振込依頼書において、依頼人の住所、氏名、口座番号等の確定事項をOCRフォントにて依頼人欄に印字したことを特徴とするFAX-OCR用振込依頼書。

【請求項2】 ファクシミリでの送信前にFAX通番をOCRフォントにて発信番号欄に印字したことを特徴とするFAX-OCR用振込依頼書。

【請求項3】 ファクシミリでの送信前に取扱店番をOCRフォントにて取扱店番欄に印字したことを特徴とする請求項2記載のFAX-OCR用振込依頼書。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、金融機関にて使用されるFAX-OCR用振込依頼書に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に金融機関においては、依頼人から受取人の振替口座や当座預金などにお金を払い込む場合に振込依頼書が使用されている。そして、事務処理の迅速化を図る上で、最近ではこの振込依頼書の形態としてFAX-OCR方式が主流になってきている。すなわち、例えばある支店で受けた振込依頼書をファクシミリにより事務集中センターに送信し、一括処理することが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来は依頼人が振込依頼書に直接手書きするようになっているため、ファクシミリにてこの手書きした文字を読み取る場合に認識率が低く、修正作業に多くの時間を要して人件費が高むという問題点があった。また、ファクシミリで読み取る前に担当者がFAX通番を付記するようにしているが、これも手書きのため認識率が完全ではなく、通番抜けのデータ管理に手間がかかるという問題点もあった。

【0004】本発明は、上記のような問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、手書き記載項目の削減により記入時の手間を減らすとともに、ファクシミリ送信時における認識率が高く修正作業に要する時間の短縮化が図れ、また通番抜けのないデータ管理にも寄与するようにしたFAX-OCR用振込依頼書を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、金融機関にて使用されるFAX-OCR用振込依頼書において、依頼人の住所、氏名、口座番号等の確定事項をOCRフォントにて依頼人欄に印字したことを特徴としている。また、ファクシミリでの送信前にFAX通番をOCRフォントにて発信番号欄に印字することを特徴としており、さらには取扱店番をもファクシミリ送信前にOCRフォントにて取扱店番欄に印字す

ることが望ましいものである。

【0006】

【作用】上述の構成からなるFAX-OCR用振込依頼書をファクシミリで送信した場合に、OCRフォントで印字した確定事項の読取りが略完全になるので、振込依頼書全体の認識率が上がる。また、FAX通番、取扱店番の読取りも略完全になる上、FAX通番については通番抜けの管理作業が著しく軽減され、取扱店番については従来行われていたような事前印刷をした場合の支店ごとの在庫管理や或いは送信前のスタンプ印字処理による手間を省くことができる。

【0007】

【実施例】次に、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【0008】図1は本発明を適用するFAX-OCR用振込依頼書の一例を示す表面側平面図である。この振込依頼書1には、図示の如く依頼人欄A、振込方法欄B、振込先金融機関欄C、受取人欄D、依頼人欄E、金額欄Fからなる太線枠で囲まれた領域が設けられており、この領域の各欄は依頼人が記入すべき部分になっている。また、それ以外の領域に設けられた各欄は金融機関にてファクシミリ送信する前に記入する事務処理の部分であり、図1では振込方法復記欄a、取扱店番欄b、発信番号欄c、手数料欄d、金額復記欄e、振込先金融機関欄f、振込先店舗欄gが設けられ、さらにその他の事務処理事項記入欄が設けられている。

【0009】図2に示す本発明のFAX-OCR用振込依頼書2は、上記の振込依頼書1に対し、顧客登録されたデータから事前に依頼人欄Eに確定事項を出力したものである。本実施例の振込依頼書2の場合では、2段の枠目に顧客の姓と名をそれぞれ片仮名のOCRフォントにて印字するとともに、その下に名前と住所を漢字で電話番号を数字で印字している。なお、依頼人欄Eに引き取り用の取引口座欄を設けたタイプの振込依頼書では、その枠目に取引口座番号をOCRフォントで印字する。以上のような出力は、既存のパソコン、プリンタ及び管理用ソフトウェアにて構成される単機能専用機を用いて行うことができる。

【0010】このように依頼人欄Eに確定事項を印字した振込依頼書2は通常複数枚をまとめて顧客に渡される。この振込依頼書2を受け取った顧客は、太線枠で囲まれたその他の欄に図3に示す如く必要事項を手書きで記入し、この手書きを加えた振込依頼書3を金融機関に渡して振込を依頼する。記入に際しては、本実施例の場合、依頼人欄Aの枠目に日付、振込方法欄Bの枠目に電信又は文書の扱い種別、受取人欄Dの最上段の枠目に口座種別及び口座番号、金額欄Fの枠目に金額をそれぞれ数字で、受取人欄Dの2段目及び3段目の枠目にはそれぞれ姓と名を片仮名で書くが、この場合に上部の記入例Xを参考にするのは通常の振替依頼書の記載要領と同

様である。また、振込先金融機関欄Cには金融機関名及び支店名を記入し、受取人欄Dには受取人の名前と住所も合わせて記入する。

【0011】依頼人が手書きを加えた振込依頼書3を受け取った金融機関では、振込方法復記欄a、手数料欄d、金額復記欄eに数字を、振込先金融機関欄f、振込先店舗欄gに数字又は片仮名を記入するとともに、その他必要な事務事項を記入する。そして、このように事務処理が終わった振込依頼書1を複数枚揃え、事務集中センターにファクシミリで送信する前に専用機にかけ、FAX通番及び取扱店番をOCRフォントにて各振込依頼書1の発信番号欄c及び取扱店番欄bにそれぞれ印字し、図4に示すように送信準備の完了したFAX-OCR振込依頼書4を作成する。

【0012】上記の如く必要事項が記入された振込依頼書4は、従来のものに比べて依頼人が直接記入すべき事項が少ないので、ファクシミリによる読取り時における認識率が高くなる。また、FAX通番及び取扱店番がOCRフォントで印字されているので、この認識率が略完全となる。

【0013】なお、上記では一つの振込依頼書を例にとって本発明を説明したが、どのようなレイアウトの振込依頼書についても適用可能であることは言うまでもない。また、以上の説明では振込依頼人を事前出力した例を挙げたが、使用方法によっては受取人を事前出力する場合や、或いはその両方を事前出力することを可能である。

【0014】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のFAX-OCR用振込依頼書は、事前に依頼人の住所、氏名、口座番号等の確定事項をOCRフォントにて依頼人欄に印字したので、記入時の手間が減少するとともに、ファクシミリ送信時における読取りの認識率が高くなり、従来多くの時間を費やしていた修正作業の軽減が図れ、処理時間を短縮できて人件費を削減することができる。

【0015】さらに、ファクシミリでの送信前にFAX通番、さらには取扱店番をOCRフォントにてそれぞれ発信番号欄、取扱店番欄に印字することにより、その読取り時の認識率が略完全となる上、FAX通番の通番抜けのデータ管理に要する労力を軽減することができ、店番を記載する手間或いは取扱店番を事前印刷した場合の振込依頼書を支店ごとに在庫管理する必要がなくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用するFAX-OCR用振込依頼書の一例を示す平面図である。

【図2】依頼人欄に確定事項を出力した本発明に係るFAX-OCR用振込依頼書を示す平面図である。

【図3】本発明のFAX-OCR用振込依頼書に依頼人が手書きを加えた状態を示す平面図である。

【図4】ファクシミリ送信するFAX-OCR用振込依頼書を示す平面図である。

【符号の説明】

- 1, 2, 3, 4 FAX-OCR振込依頼書
- E 依頼人欄
- b 取扱店番欄
- c 発信番号欄

【図1】

【図2】

振込依頼書

XXXXXXXX

大日本 太郎 様へ

東京都中央区

【図3】

振込依頼書

XXXXXXXX

大日本 太郎 様へ

東京都中央区

【図4】

The diagram shows a Japanese postal form with the following sections and labels:

- Top Section:** A box for a postal code (112 0016) and a box for a name (振込依頼書).
- Left Side Labels:** X, A, B, C, D, E.
- Right Side Labels:** a, b, c, d, e, f, g.
- Form Fields:**
 - 012, 050070, 7
 - 東西, 東京
 - 2, 1234567890
 - 72717777777777777777
 - 中央探検会社
 - 東京都千代田区
 - 大日本 太郎
 - 東京都中央区

This Page Blank (uspto)